

## 厚生文教常任委員会所管事務調査報告書

本委員会の所管事務調査として、会議規則第 75 条の規定により閉会中の調査事件として申し出した次の事件について、調査の経過及び結果を会議規則第 77 条の規定により報告する。

令和 2 年 12 月 7 日

上富良野町議会議長 村上 和子 様

厚生文教常任委員会  
委員長 中澤 良隆

### 記

調査事件名 1 「上富良野町子どもセンター」の現況と事業内容等について

#### 調査の経過

本委員会は、令和 2 年 10 月 26 日に委員会を開催し、「上富良野町子どもセンター」の現況と、事業内容についての視察調査を行うことを決定し、11 月 9 日に調査を実施し、「子どもセンター」の現況と事業内容、利用の実態などを保健福祉課の担当者から説明を受け、本委員会としての調査を終えた。

#### 1 「上富良野町子どもセンター」の現況と事業内容等について

昭和 48 年 12 月に老人及び身体障害者の活動拠点として「上富良野町老人身障者センター」が新築された。その後、施設の目的変更が行われ、平成 17 年 4 月 1 日より「上富良野町子どもセンター」として運営が開始され、センター内には「母子通園センター」、「子育て支援センター」としての機能が置かれていたが、平成 18 年には「母子通園センター」を「発達支援センター」に名称を変更し、今日に至っている。

また、施設内には、「ファミリー・サポート・センター」「高齢者事業団」の事務所が置かれているほか、「NPO 法人たんぼぼの会」が、毎週日曜日に託老事業を実施し、それぞれの目的に沿った活動を行っている。

次に、「子どもセンター」の構造や面積等は、以下のとおりである。

建物の構造	補強コンクリートブロック造一部鉄骨造	平屋建
□建物の面積	総面積	936.0 m <sup>2</sup>

#### [内 訳]

- ・発達支援センター 265.7 m<sup>2</sup>(事務室、指導訓練室、相談室他)
- ・子育て支援センター 299.2 m<sup>2</sup>(事務室、プレイルーム、サロン他)
- ・ファミリー・サポート・センター 22.5 m<sup>2</sup>
- ・高齢者事業団 39.8 m<sup>2</sup>(事務室、出入口、物品庫)
- ・共用部分 308.8 m<sup>2</sup>(会議室、物品庫、玄関、トイレ、機械室他)

(1) 発達支援センターの活動内容等

現在の発達支援センターは、平成4年4月から泉栄防災センターで「母子通園センター」として発達支援事業の運営が進められてきていたが、利用者の増加等により施設が狭隘化したため、平成17年4月からは「老人身障者センター」に機能が移された。また、平成18年には「母子通園センター」を「発達支援センター」に名称を改め、子どもセンター内で発達支援事業が行われてきている。

発達支援センターは、発達に遅れがあると思われる就学前児童と親と一緒に通園する場所で、子どもが「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」において、将来、日常生活や社会生活が円滑に営めるよう乳幼児期の療育支援を行うことが目的となっている。

なお、発達支援センターの事業概要等については、以下の別表1「発達支援センター事業所の概要等」を参照されたい。

別表1 「発達支援センター事業所の概要等」

《職員体制》	
●施設長（兼 務）	1人
●児童発達支援管理責任者	1人
●療育指導員	職員2人 会計年度任用職員(月額)4人
《事業所概要》	
定員	1日10人
利用範囲	上富良野町・中富良野町
指導方法	個別指導
利用時間等	1日4枠・1回当たり1時間
	① 9:00 ②10:30 ③13:30 ④15:30
2020.10.1 在籍数	61人 ※上富44人 中富17人

(2) 子育て支援センターの活動内容等

子育て支援センターは、就学前児童・妊産婦・その家族を対象に交流の場を提供し、子育てを支援している。親子で遊ぶ事業のほか、育児相談、自由に遊ぶ「なかよしサロン」等が開設されている。

また、センターにおいては「地域子育て支援拠点事業」にも取り組み、子育て中の親子の交流促進や育児相談等を実施し、子育ての孤独感や負担感の解消を図ってきている。なお、子育て支援センターの事業概要等については、以下の別表2「子育て支援センターの事業概要」を参照されたい。

別表2 「子育て支援センターの事業概要」

《職員体制》	
●施設長（兼 務）	1人
●子育て支援員	
	会計年度任用職員（月額）2人、（時給）4人

(3) その他の利用団体等の実態

① ファミリー・サポート・センター

上富良野町と中富良野町の両町でファミリー・サポート・センター基本事業等を「NPO法人こどもサポートふらの」に委託し、様々な子育てに関するサポート事業が行われている。

現在、会員数は203名で、その内訳は提供会員21名、依頼会員115名、両方会員67名となっている。保育園や習い事の送迎、休日・夜間の預かりなどのサポートを実施している。

② 高齢者事業団

平成元年、「高齢者事業団」が会員56名をもって発足し、事務局は老人身障者センターにおかれた。

現在、会員41名で活動が継続されている。

③ NPO法人たんぼぼの会

平成14年福祉ボランティア会員6名が「上富良野たんぼぼの会」を設立し、平成15年NPO法人の認可を受けた。

老人身障者センター内で、平成15年から「託老所」を開設し、現在も日曜日に託老所事業を行っている。

総論（まとめ）

今回の「子どもセンター」の現況と事業内容についての調査で、「発達支援センター」においては、発達が気になる就学前児童に対し、一人一人の特性に向き合い熱心な指導の様子を見て、改めて早期療育の必要性を認識することができた。

「子育て支援センター」では、子育て家庭等に対する育児不安等についての相談・指導や、子育てサークル等への育成・支援が行われてきており、地域の子育て支援の拠点として十分な機能が発揮されていた。

また、少子化の進行、核家族化の進行、女性の社会進出などにより、子育ての環境が大きく変化し、地域で子どもたちを育む基盤として様々な事業に取り組んでおり、上富良野町の子育て環境の振興に大きく貢献していることを確認することができた。